

令和6年度事業報告

1. たくま荘デイサービスセンターの浴室改修について

たくま荘デイサービスセンターでは、浴室の老朽化が進んでいたため、積立資産の取崩しにより改修工事を実施しました。特に、タイルの浮きや剥落などの劣化が目立っていたため、快適で安全な環境を整えることを目的としました。

今回の改修では、利用者様の身体への負担を軽減するため、大人数で入浴する従来の浴槽を廃止し、ニア浴2台と個浴の浴槽を新設しました。あわせて脱衣室の面積を拡張し、和室の改修も行い、より快適に過ごせる空間へと整備しました。

これにより、利用者様の利用環境が大幅に改善されるだけでなく、井水使用量の削減や循環装置の廃止によりボイラー稼働時間短縮、さらにはろ過装置の撤去とともにランニングコストの低減も期待できます。改修によって、より効率的で快適な施設運営を目指しています。

| | |
|----------|---------------|
| 総事業費 | 28, 530, 000円 |
| 内訳 設計費 | 2, 640, 000円 |
| 建築費 | 17, 930, 000円 |
| ニア浴槽装置購入 | 7, 960, 000円 |

2. パソコンの更新及び介護テクノロジーの導入について

介護ソフトの運用効率化を図るため、耐用年数を超え、処理能力が低下した介護業務用パソコン33台の更新を実施しました。

さらに、介護記録の音声入力の導入や業務時間中の連絡体制が円滑化を目的として、「介護テクノロジー定着支援事業補助金」を活用し、たくま荘へ携帯端末17台、ヘッドセット50セット、おおはま荘へ携帯端末8台、ヘッドセット25セットを購入して音声入力システムの構築を行いました。

これにより、職場環境の改善や人材確保の面から、重要な課題である介護記録作成の効率化や情報共有業務の円滑化が実現し、介護分野における生産性向上につなげていくことが可能となりました。

| | |
|----------|--------------|
| パソコン購入費用 | 5, 160, 100円 |
|----------|--------------|

| | |
|--------------|--|
| 介護テクノロジー導入費用 | |
|--------------|--|

たくま荘 3, 935, 000円 うち県補助金 2, 600, 000円

おおはま荘 1, 889, 100円 うち県補助金 1, 416, 000円

3. 新型コロナウィルス感染症対策について

感染拡大防止のため、法人として、引き続き可能な限りの感染対策を講じるとともに、職員への注意喚起を行ってまいりました。

しかしながら、職員や関係者の努力にもかかわらず、令和6年度には、7月末から8月上旬にかけてケアハウスたくまで、また、12月中旬から年末にかけてたくま荘でクラスターが発生し、感染拡大防止対策に追われることとなりました。しかし、昨年度までの経験を活かし、短期間での収束させることができました。

このような状況を踏まえて、法人として職員とともに、今後も感染予防対策の徹底を図るとともに、クラスター発生時の迅速な初期対応に努め、より強固な感染防止体制を構築してまいります。

たくま荘

あじさい・つつじユニット

令和6年12月13日 入所者1名感染、12月28日終息まで入所者7名、職員3名が感染しました。

ケアハウスたくま

令和6年7月27日 入所者11名、職員1名感染、8月8日終息まで入所者18名、職員2名が感染しました。

4. 部署別事業計画及び事業目標

特別養護老人ホームたくま荘

年間入所率95%以上、ショートステイ利用率80%以上の目標に対し、令和6年度は、12月の新型コロナのクラスター発生がありました。前年度と比べて年間入居率は2.53ポイント改善され91.73%となりました。ショートステイについても、稼働率は5.1ポイント改善され67.4%となりました。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

年間入居率95%、ショートステイ75%の目標に対し、特養では順調に推移していましたが、2月・3月に入院後、退院の見通しが立たず退所扱いとなった入居者の補充が難航したため、入居率が低下しました。その結果、前年度と比べて、3.75ポイントの低下となり90.31%となりました。ショートステイについては、職員の配置が整い受け入れが可能となつたため、稼働率が13.3ポイント改善され63.2%になりました。

たくま荘デイサービスセンター

平均利用人数1日25人を目指していましたが、前年度と比べて、平均利用人数は2人減の22人、稼働率は5.5ポイント低下し75.5%となりました。

大浜デイサービスセンター

平均利用人数 1 日 1 5 人以上を目標としていましたが、前年度と同数の平均利用人
数は 1 2 人、稼働率は 1.6 ポイント改善し 69.5%となりました。

ケアハウスたくま

年間の退所者数が 7 名、入居者が 12 名となり、退所者に対する入所者の確保に努め、
令和 6 年 4 月の月初在籍数が、令和 7 年 3 月には 4 名増となり空室が 1 部屋となって
入居率 92% となっています。引き続き、退去後の新規入居者の確保と長くケアハウス
で生活していただけるような環境をつくるよう努めてまいります。

居宅介護支援事業所たくま荘

毎月の利用者数 1 9 0 人以上利用者数は、ケアマネジャー 4 名で月 1 6 7 件でした。
昨年度の 5 名で月 1 8 4 件より 17 件減少しましたが、1 人当たりの件数は 5 名の増と
なっています。